



平成29年度 学校教育目標・経営方針・指導重点
つながる学校プロジェクト I



1 学校教育目標

「たくましく 心豊かで 自ら学ぶ子どもの育成」

【めざす児童像】

- ・心身ともに健康な子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・進んで学習する子ども

【めざす学校像】

- ・育てる学校
- ・示せる学校
- ・信頼される学校

2 学校経営方針

「原っぱ教育」→ 北杜市の目指す学校教育活動の充実・発展に努める。

「清里教育」→ 「人・もの・自然との、であい・ふれあい・つうじあい」
地域の教育資源を活かした特色ある学校づくりに努める。

「健やかな体」→ 健康で安全に生活し、体力づくりに励む子どもを育成する。

「豊かな心」→ 生命・人権（自己肯定感・他者への思いやり）を尊重する教育を推進する。

「確かな学力」→ 「学び合い」のアクティブラーニングで人とつながれる力を育成する。

「豊かな学び」→ キャリア教育等を推進し、夢を育み社会的に自立できる子どもを育成する。

「開かれた学校」→ 教育課程を介して地域とつながる学校をつくる。

「指導力」→ 確かな指導力を発揮し、責任ある学校運営の確立を図る。

「教師力」→ 教職員として日々研鑽に努め、質の高い教育活動を実践する。

=「学び合い」を通して、人とつながれる力を身につけられるように=

3 本年度指導重点

教育指標

- **体** 元気に …安全意識と運動と望ましい生活習慣で健康づくり
- **徳** 楽しく …関わり合いで人間関係づくり
- **知** しっかり…わかる授業で基礎基本づくり **学校いじめ防止基本方針と連動**

① 健康・安全教育の充実と体力の向上に努める。

○体育・業間体育・休み時間を連動させた、健康な体づくりと体力の向上

◇運動の日常化 ☆体力づくりP

○安全な生活を送ることのできる実践力の育成

◇災害・生活・交通安全教室の充実 安全への備え（家庭・地域・関係機関との連携）

○健康の保持，基本的生活習慣の確立

◇保健指導と望ましい生活習慣確立に向けた取り組み（家庭・関係機関との連携）

② 自ら学ぶ児童を育成する学習指導に努める。

○基礎的・基本的内容の確実な定着と個に応じた指導の充実

◇授業（45分）の充実・家庭学習の習慣化・朝学習の充実

- 国語力育成のための言語環境づくり
 - ◇自分の考えを自分の言葉で ◇原稿を見ない発表
- 学習意欲の原点づくり
 - ◇できた・わかった充実感と向上心（自己肯定感を実感できる学習）
 - ◇学びを人生や社会に生かそうとする意欲づくり（学びに向かう力・人間性の滋養）
- ICTを利用した授業づくり ☆ICT利用P

③ 心豊かな児童の育成に努める。

- 望ましい学級集団の育成 ☆ハイパーQU調査の活用
 - ◇肯定感・所属感・有用感
- 道徳教育を中心に、教育活動全体を通じた心づくり
 - ◇道徳の時間の充実 ◇校内環境整備への配慮 ☆環境文化P
- 他者を思いやる心、社会性の育成
 - ◇異学年・多世代・不特定多数との交流・体験活動を等して
- 実態把握（いじめ・不登校等）と愛情・信頼に基づく生徒指導
 - ◇児童理解を踏まえた指導・情報の共有・報告・連絡・相談の徹底
 - ◇いじめを生まない学校づくり ☆いじめ防止基本方針

④ 特別支援教育への校内支援体制の確立に努める。

- 適切な教育課程の編成
 - ◇個別支援・指導計画・活用
- 組織的な実態把握と支援計画
 - ◇情報交流と行動交流
- 校内特別支援委員会の活用
 - ◇支援のあり方の研修
- 幼保小中の連絡調整
 - ◇関係機関との連携

⑤ 家庭や地域との連携と開かれた学校づくりに努める。

- 保護者や地域住民との連携による児童の健全育成
 - ◇すべては清里っ子のために ◇ブログの日常的な公開
- 地域の『人・もの・自然』を生かした教育活動の実践
 - ◇ふるさとから学び、ふるさとに働きかけ、ふるさとに愛着を
 - ◇地域人材を広く求めて各教科や領域で活用する。
- 清里教育ボランティアの活用
 - ◇拓かれた教育活動、地域・関係機関の教育力の活用
- 高校・中学校・保育園等との連携
 - ◇情報の共有と行動の連携
 - ◇小中の連携交流
- 学校を核とした地域の創生
 - ◇地域のニーズに応える学校づくりの推進